

http://www.motegin.com/iriomote_plant/g uide/4139/004/4139004001c1.jpg

区別のポイント

葉は互生で長さ5~10 cmの倒披針形で全縁。側脈は縁の近くでカーブを描いて上方の側脈に合流する。

形態 常緑低木。高さ5mほどで、よく分枝する。

分布 本州 (和歌山県)・四国・九州・沖縄

名前の由来 果序の様子がヒハツ(胡椒)に似ていることから。

葉 〈全体〉倒披針形で長さ5~10 cm、幅2~4 cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉短い。

〈基部〉広いくさび形。

〈葉先〉に尖る。

〈縁〉全縁。

備考

出典 9